

2018年12月26日
株式会社エクソル

エクソルのSDGsへの関わり方と取り組みについて 「SDGs レポート 2018」を公開

【情報解禁日時：2018年12月26日(水曜日)16時】

当社は、2001年の設立以来、太陽光発電の普及によるエネルギー問題の解消、地球環境保全を使命と考え、企業活動に取り組んできました。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」、いわゆるSDGsが掲げられました。

SDGsの目標は当社の企業理念と合致し、かつ国際的な目標であることから、SDGsへの貢献を目指すことは必然であると考え、まずは事業活動を通じてどのような貢献をしていくのかをとりまとめた、「SDGs レポート 2018」を作成しました。

エクソルのSDGsへの取り組みについて

エクソルは「再生可能エネルギーである太陽光発電の普及促進」という基幹事業を通じて、エネルギー分野、気候変動に関わる分野に貢献することができるものと考え、この基幹事業を通じて達成に貢献できる目標として4つに特定しました。

また、エクソルの未来を担う存在でもある従業員の存在なくしては、これらSDGsの目標に貢献することは不可能であるため、従業員、さらにはその家族にとっても最適な環境を整えることが重要であることから、「ダイバーシティ & インクルージョン」の取り組みとして、3つの目標を特定しました。

再生可能エネルギーの普及促進、ダイバーシティ & インクルージョンを推進することで、私たちを取り巻く生活環境、さらには地球環境の向上につなげることで、持続可能な社会の実現に貢献します。



太陽光発電の普及促進によりエネルギー自給率の拡大、地球環境保全に貢献するとともに
会社の未来を支える従業員やその家族にとって最適な環境を整えることが
持続可能な社会の形成につながる

エクソルのSDGsへの取り組み内容について

○再生可能エネルギーの普及促進

クリーンな自給エネルギー太陽光発電を未来のエネルギーとして次世代につなぐために

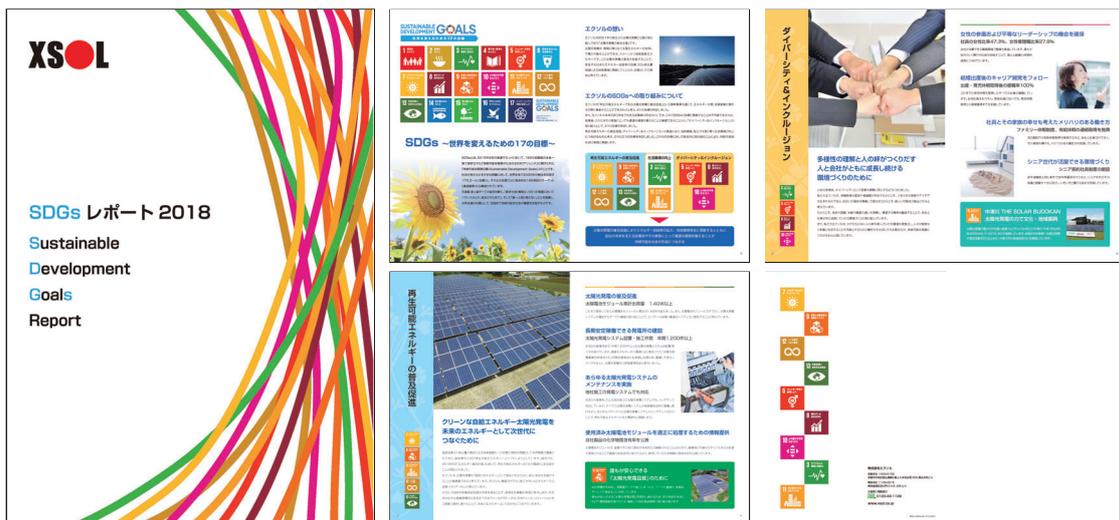
エクソルは太陽光発電を「国民のエネルギー」として普及させるために、機器だけでなく施工を始めとするすべての品質・クオリティの向上に努め、住宅向けから大規模発電所に至るすべてのフィールドでトータルプロデュース、ソリューションをご提案ご提供し続けることで、未来のエネルギーとして次世代につなげていきます。

○ダイバーシティ&インクルージョン

多様性の理解と人の絆がつくりだす人と会社が共に成長し続ける環境づくりのために

エクソルは性別や国籍、年齢や職歴の違いを理解し、尊重する精神を醸成することで、会社と社員が共に成長していける環境づくりに取り組んでいます。また、かけがえのない人の絆を育ていける環境を理想とし、人々が無理なく幸福に生活することを可能とするための働き方を大切にする企業文化が、持続可能な発展につながるものと信じています。

詳細内容につきましては、当社ホームページで公開している「SDGs レポート 2018」をご参照ください。



— XSOL (エクソル) について —

当社は「太陽光発電の総合企業」として、再生可能エネルギーの普及促進によるエネルギー自給率の拡大や、地球環境保全を使命と考えています。そのためには、コスト低減と共に安心・安全をお届けすることが最重要と考え、機器だけでなく施工をはじめとするすべての品質・クオリティにこだわり、設計・調達・建設・メンテナンスまで含めたワンストップソリューションに取り組んでいます。

社 名：株式会社 エクソル / XSOL CO., LTD.

設 立：2001年1月24日

代表取締役社長：鈴木 伸一（すずき しんいち）

本 社 所 在 地：京都本社 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 烏丸中央ビル

東京本社 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-4-8 JDB ビル

ホームページ：<https://www.xsol.co.jp>

ひきだしたい、無限の太陽力。

XSOL

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞

経営企画部 経営企画課：治田

TEL：03-5425-1258（代表）